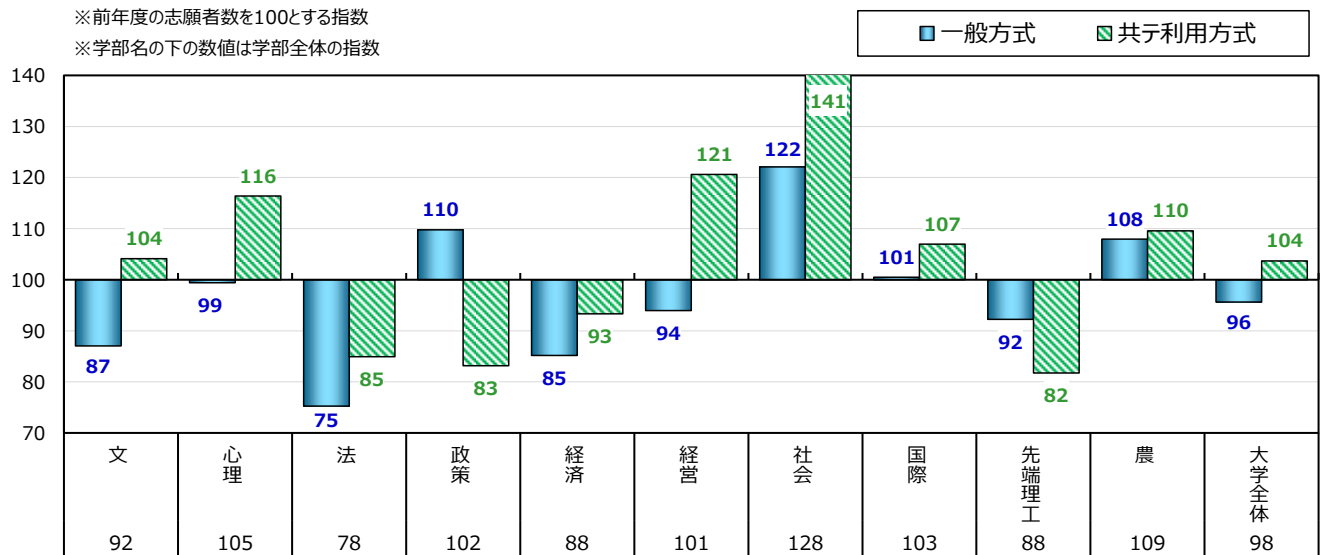


龍谷大：大学全体では微減で、志願者数は再び5万人台 一般：-1,808人 共テ：+719人



主な入試変更点	入学検定料：共通テスト利用方式…2出願目まで：20,000円、3出願目以降：1出願ごとに10,000円 ※同一日程に限る →2出願目まで：20,000円、3出願目～5出願目まで1出願ごとに10,000円、 6出願目以降：1出願ごとに7,000円 ※同一日程に限る
	併願制度：先進理工、農<一般>…先進理工と農の併願不可→先進理工と農の併願可 選抜方法：文(英語英米文)…<一般・前期、中期英語重視方式>、<共テ併用・前期リスニング方式>、<共テ併用・中期外国語方式>、 <共テ・後期外国語1教科方式>新規実施 国際…<一般・前期、中期英語重視方式>新規実施 先進理工、農<一般>、<共テ併用>…先進理工は理工型、農は農学型で実施→両学部共に理系型で実施 先端理工<一般・前期高得点科目重視方式>、<一般・中期高得点科目重視方式> …配点セレクト数学重視方式、配点セレクト理科重視方式→高得点科目重視方式 <一般・後期理系科目重視方式>…配点セレクト数学重視方式、配点セレクト理科重視方式 →理系科目重視方式 入試科目：※詳細は「入試変更点一覧」(https://www2.sundai.ac.jp/news/2024news/s_4.pdf)参照

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,089人(98)の微減で、前年度志願者数が6万人を上回ったが、わずかに6万人を下回った。学部別では、10学部中増加が6学部、減少が4学部。増加では社会(128)が大幅増加で4年連続増加、志願者数は2016年度の学科改組以降で最多。学部改組による新設2年目の心理(105)はやや増加。一方、減少では法(78)が大幅減少。方式別では、一般方式は1,808人(96)のやや減少。一方で、共通テスト利用方式は入学検定料割引制度と新方式導入の影響で719人(104)のやや増加、志願者数は2万人を上回った。

<一般方式>

- 文(87)は、心理の学部改組により10学科・専攻になって2年目だが、前年度大幅増加の反動で減少。学科・専攻別では、真宗(112)の増加を除く9学科・専攻が減少。特に、(歴史/仏教史学)(67)は前年度激増の反動で大幅減少、(哲学/教育学)(67)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(日本語日本文)(91)は減少で5年連続減少。英語英米文(96)は新しい選抜方法を導入したがやや減少で、既存方式のみでは(87)の減少。
- 心理(99)は、学部改組で新設2年目だが、前年度旧文(臨床心理学)の学部への改組によって、募集人員が2.5倍に大幅増加した影響から倍増した反動は小さく、微減で前年度並。ただし、志願倍率は29.6倍→24.4倍→24.2倍とわずかだがダウンが継続。
- 法(75)は、大幅減少で3年連続減少。志願者数は2,700人台まで減少し、募集人員が200人となった2021年度以降で最少。
- 政策(110)は、前年度大幅増加に引き続き増加。方式別では、<中期スタンダード>(141)、<中期高得点>(134)がいずれも大幅増加で、志願者数は方式を導入した2021年度以降では最多。
- 経済(85)は、前年度増加の反動で大幅減少。方式別では、1・2月募集は全ての方式が減少。
- 経営(94)は、前年度増加の反動は小さくやや減少だが、志願者数は3年連続で5,000人を下回った。1・2月募集は、全ての方式が減少。
- 社会(122)は、2年連続大幅増加。志願者数は5,300人台で、募集人員が173人となった2021年度以降で最多。学科別では、3学科全てが増加。特に(現代福祉)(159)は大幅増加。(コミュニティマネジメント)(111)、社会(111)はいずれも前年度大幅増加に引き続き増加。
- 国際(101)は、前年度増加に引き続き微増で前年度並。学科別では、2022年度前期から海外留学を再開した(グローバルスタディーズ)(87)は、2年連続増加の反動で減少。一方で、(国際文化)(107)は2年連続やや増加だが、志願者数は3年連続2,000人を下回った。
- 先端理工(92)は、前年度2020年度の改組以降初の増加となったが、再び減少。課程別では、6課程中5課程が減少。特に、(数理・情報科学)(78)、(電子情報通信)(80)は大幅減少。一方で、(環境生態工学)(172)は3年連続減少の反動で激増。
- 農(108)は、先進理工との併願が可能になったことで、2年連続増加。学科別では、4学科中3学科が増加。特に(食料農業システム)

ム(124)は2年連続大幅増加で、志願者数は4年ぶりに1,000人を上回った。(生命科学)(110)は改称前の旧(植物生命科学)も含めて、3年連続増加。(食品栄養)(102)は3年連続減少の反動はなく、微増に留まり前年度並。一方で、農(90)は改称前の旧(資源生物科学)も含めて4年連続減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(104)**は、心理の学部改組により、10 学科・専攻になって2年目だが、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科・専攻別では、10 学科・専攻中6 学科・専攻が増加。特に(歴史／文化遺産学)(150)は前年度減少率 30%以上の大幅減少の反動で大幅増加。新しい選抜方法を導入した英語英米文(118)は大幅増加、既存方式のみでも(106)のやや増加。一方で、(仏教)(79)は7年連続増加の反動で大幅減少。
- 心理(116)**は、学部改組で新設2年目だが、前年度改組による募集人員増加もあって大幅増加した反動はなく引き続き大幅増加。志願倍率も29.0倍→33.7倍へアップし、2022年度の旧文(臨床心理学)の33.3倍とほぼ同倍率となった。
- 法(85)**は、2年連続大幅減少。方式別では、1・2月募集の方式はいずれも減少、特に<共テ併用・中期3科目>(45)は半減以下、<共テ併用・前期>(68)は2年連続大幅減少。
- 政策(83)**は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。1・2月募集の方式別では、<共テ・前期4科目>(74)、<共テ・前期3科目>(75)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、<共テ・中期3科目>(108)は3年連続増加だが、募集人員が1人(20%)減少で志願倍率は14.2倍→19.3倍へアップ。
- 経済(93)**は、3年連続増加の反動は小さくやや減少。1・2月募集の方式別では、<共テ併用・前期数学>(39)は前年度激増の反動で激減。<共テ併用・前期2科目>(62)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経営(121)**は、前年度減少の反動で大幅増加、志願者数は2,000人を上回った。1・2月募集の方式別では、<共テ・前期2科目>(183)は激増、<共テ・前期3科目>(144)、<共テ・前期4科目>(140)は大幅増加。
- 社会(141)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は2,900人台で、募集人員が118人となった2021年度以降で最多。学科別では、3学科とも大幅増加でいずれも前年度の反動。特に社会(152)は大幅増加。
- 国際(107)**は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(国際文化)(116)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(グローバルスタディーズ)(91)は2年連続減少
- 先端理工(82)**は、大幅減少で2020年度の改組以降初の減少、旧理工を含めると7年ぶりの減少。課程別では、6課程中4課程が減少。特に(機械工学・ロボティクス)(66)、(知能情報メディア)(70)、(数理・情報科学)(72)は大幅減少でいずれも前年度大幅増加の反動。一方で、(環境生態工学)(126)は大幅増加で2年連続増加。
- 農(110)**は、6年連続増加。学科別では、全学科が増加。特に(生命科学)(116)は改称前の旧(植物生命科学)も含め6年連続大幅増加、(食料農業システム)(113)は6年連続増加、(食品栄養)(105)やや増加で、いずれも志願者数は2016年度に共通テスト利用方式導入以降で最多。農(102)は改称前の旧(資源生物科学)も含めて2年連続前年度並。